



京都不思議編

その1

鏡さんが親しくされている実相院の撮影で
実際にあったことですが…、

撮影が終わった後、奥のお部屋でお茶とお茶菓子を
いただいていたところ、襖をノックする音。

「ハイ」と答え開けたところ、廊下にはだ～れもいなく、
全員で「?」「え、絶対聞こえたよね?」って
言っていたところに、鏡さんがひと言
「ああ、妖精さんだったのかな?」

実はちょっとコワくてドキドキしていたのですが、
そのひと言ですごく救われたんです（笑）。

さすが鏡さん！ありがとうございます。

でもこの実相院、不思議な魅力があって、なにか温かいものに
包まれるような安堵感があるんです。

妖精がいる、と言っても違和感がない場所だと思いました。



実相院前の公園で。
無邪気な鏡さんのお宝ショット。

その2



鞍馬山登山の撮影中に実際にあったことですが…、
貴船口から奥の院魔王殿に向かって歩き、
ねじれた木の辺りにさしかかったところ、
ふと自分の身体を見ると、明らかに左へナナメに
なっているんです！ 普通に身体がナナメになっていたら
横に倒れそうなものなのですが
不思議なことにナナメ前身歩きしているんです。
木もねじれるほど、どうやら地面の力が強いみたいです。
この日は小雨だったのですが、カメラマンの工藤さんが
写真を撮ろうとすると、ぐわ〜〜〜んと木が揺れて
不思議と雨がピタリと止むんです。
最初は気のせいかなと思っていましたが、
あまりに毎度だったので、みんな気がつき…
鞍馬山は絶対何かある、と思います。
ぜひみなさんも自分の足で登って確かめてみて欲しい。
とにかく、スゴイところです。

